

東北地方 1か月予報

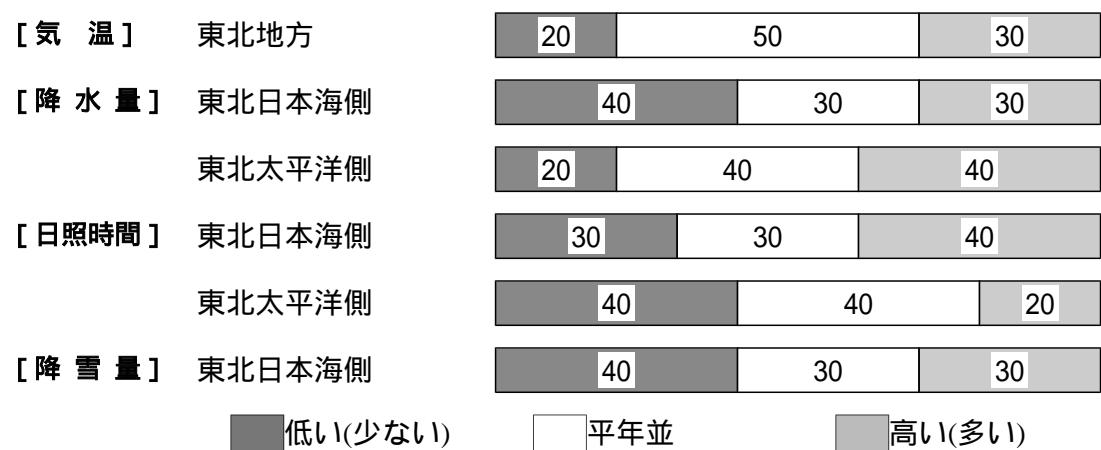
(1月19日から2月18日までの天候見通し)

平成20年1月18日
仙台管区気象台発表

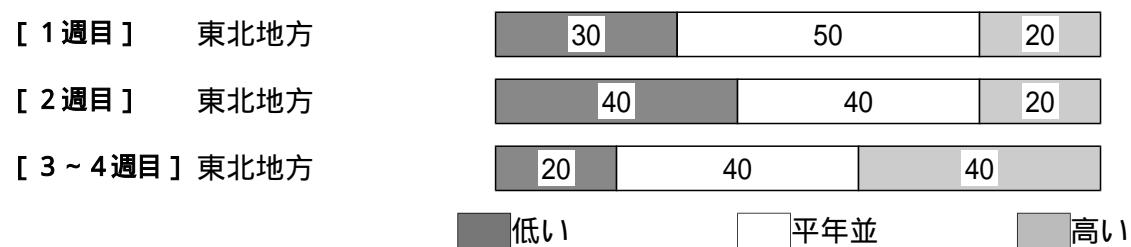
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北日本海側は平年に比べて曇りや雪または雨の日が少ないでしょう。東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ないでしょう。
向こう1か月の平均気温は、平年並の確率が50%です。東北太平洋側の降水量は、平年並または多い確率がともに40%です。東北太平洋側の日照時間は、平年並または少ない確率がともに40%です。
週別の気温は、1週目は平年並の確率が50%、2週目は平年並または低い確率がともに40%、3~4週目は平年並または高い確率が40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 1月19日(土) ~ 2月18日(月)
1週目 : 1月19日(土) ~ 1月25日(金)
2週目 : 1月26日(土) ~ 2月1日(金)
3~4週目 : 2月2日(土) ~ 2月15日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は1月25日
3か月予報:1月24日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3～4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	降雪量(cm)	気温()		
					1週目	2週目	3～4週目
青森	-1.7	140.9	68.8	260	-1.8	-2.0	-1.6
深浦	-0.7	85.2	41.8	136	-0.8	-1.1	-0.7
むつ	-2.0	92.3	89.5	196	-1.9	-2.2	-2.0
八戸	-1.4	56.1	141.5	118	-1.5	-1.8	-1.4
秋田	-0.3	102.1	58.7	141	-0.5	-0.7	-0.2
盛岡	-2.2	53.0	137.1	117	-2.4	-2.6	-2.1
大船渡	0.4	52.2	156.3	31	0.3	0.1	0.5
宮古	-0.2	72.6	169.3	69	-0.2	-0.5	-0.1
仙台	1.3	41.5	164.3	38	1.1	0.9	1.4
石巻	0.4	38.8	179.2	16	0.2	0.0	0.5
山形	-0.7	74.1	99.7	173	-0.9	-1.0	-0.6
新庄	-1.4	169.3	51.7	289	-1.6	-1.7	-1.3
酒田	1.1	133.9	52.0	145	1.0	0.8	1.1
福島	1.3	46.5	153.8	84	1.1	0.9	1.4
若松	-0.8	74.9	96.5	188	-1.0	-1.2	-0.7
白河	0.0	32.2	170.1	56	-0.2	-0.4	0.1
小名浜	3.3	53.8	196.4	0	3.2	3.0	3.4

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971～2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.4～+0.7	76～110	95～105	86～106
東北日本海側	-0.3～+0.7	88～105	90～111	91～107
東北太平洋側	-0.4～+0.8	65～111	98～103	80～109

(3) この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3～4週目
東北地方	-0.6～+0.9	-0.7～+0.9	-0.5～+0.8
東北日本海側	-0.6～+0.9	-0.6～+0.8	-0.5～+0.8
東北太平洋側	-0.6～+0.9	-0.6～+1.0	-0.5～+0.8

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成20年1月18日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(1月19日~2月18日):

冬型の気圧配置となる日が多いですが、一時低気圧や気圧の谷の影響を受ける見込みです。東北日本海側は平年に比べて曇りや雪または雨の日が少なく、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は平年並の確率が50%です。

1週目(1月19日~1月25日):

気圧の谷や寒気の影響で、東北日本海側は雪の日が多いでしょう。東北太平洋側は、21日頃は低気圧の影響で雪や雨の日がありますが、その他の日は沿岸部を中心に晴れる日が多い見込みです。

平均気温は平年並の確率が50%です。

2週目(1月26日~2月1日):

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。一時強い寒気が南下する見込みです。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並または低い確率がともに40%です。

3~4週目(2月2日~2月15日):

冬型の気圧配置となる日は少なく、低気圧や気圧の谷の影響を受ける見込みです。東北日本海側は平年に比べて曇りや雪または雨の日が少なく、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ないでしょう。

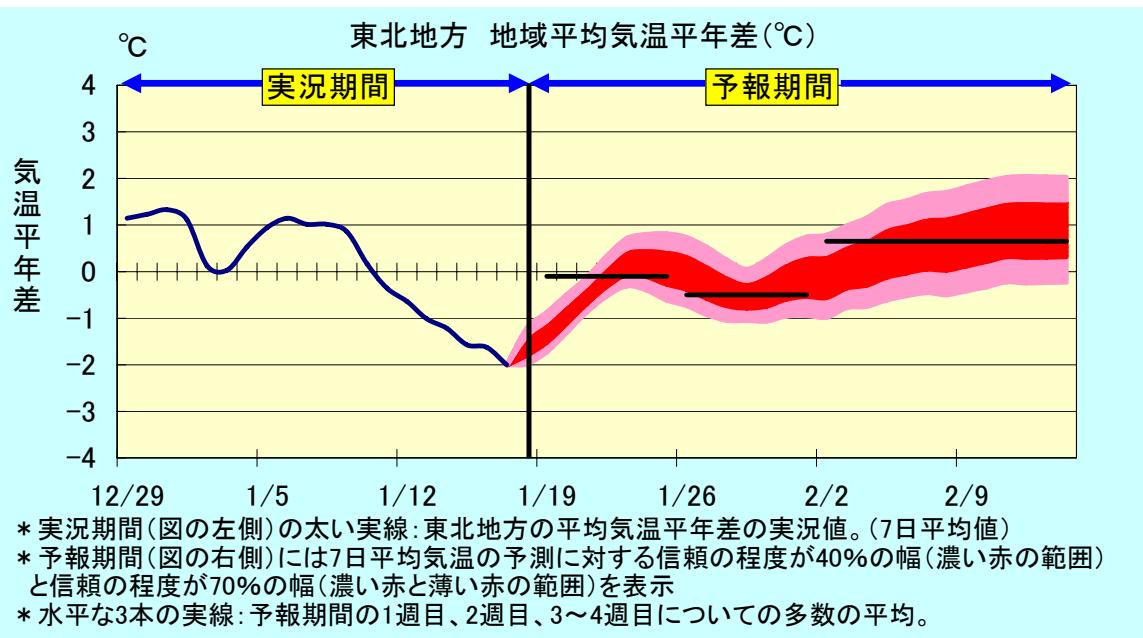
平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	5.4日	1.1日	1.3日	3.0日
東北太平洋側	18.3日	4.3日	4.7日	9.3日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目は平年付近、2週目は平年を下回り、3~4週目は平年を上回る予想となっている。

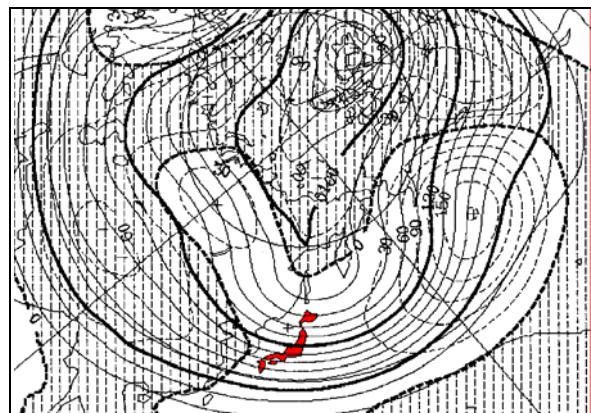


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

1か月平均：北極振動は寒気蓄積傾向。日本付近は正偏差であるが、シベリアとアラスカ付近には強い正偏差があり、日本付近は気圧の谷となつていて、一時強い寒気の南下がある見込み。

1週目：日本付近は西日本を中心に正偏差となっており、やや東谷。下層の気温は東北地方では強い偏差はなく(図略)、気温は平年並となる見込み。

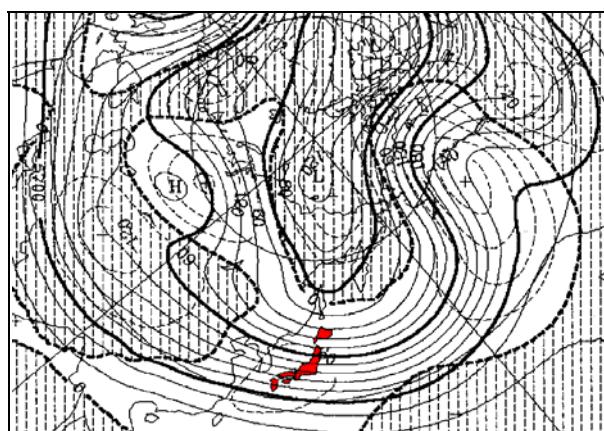
2週目：シベリアとアラスカ付近は正偏差。日本付近は負偏差で気圧の谷となっている。寒気の南下が予想され、気温は低くなる見込み。



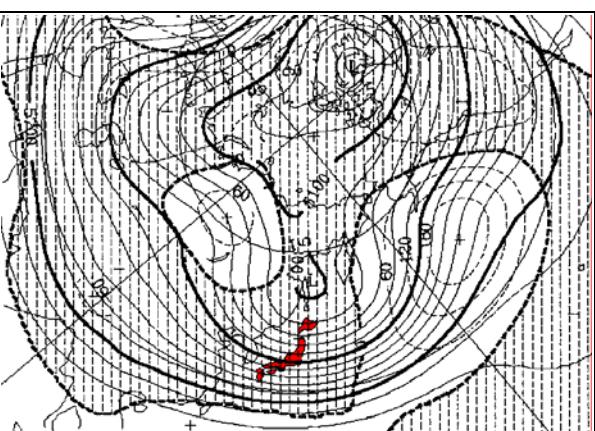
1か月平均 500 hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ)

ただし平年差の間隔は 30m 毎)



1週目平均 500 hPa 予想天気図



2週目平均 500 hPa 予想天気図

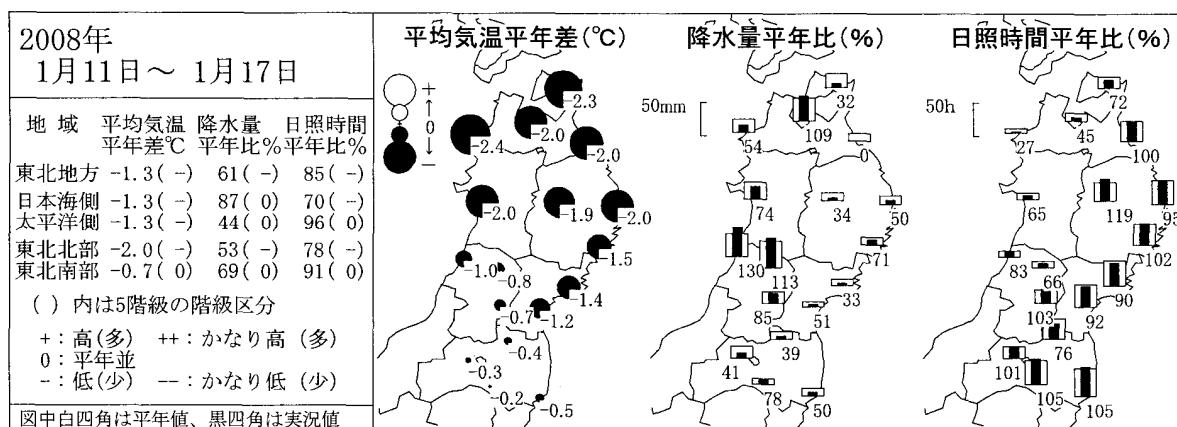
実線は、等高度線 (間隔 60m)、点線は、平年差 (間隔 60m)

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (1月11日～1月17日) の天候の経過

この期間は、冬型の気圧配置となることが多く、東北日本海側を中心に曇りや雪の日が多かつたが、東北太平洋側では沿岸部を中心に晴れの日もあった。12日には低気圧が日本の南岸を通過したが、その後は冬型の気圧配置となり強い寒気が南下したため、気温の低い日が続いた。

平均気温は東北北部で低く、東北南部で平年並。降水量は東北北部で少なく、東北南部で平年並。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)